

『診察と手技がみえる』 はココが違う!

毎年、多くの学生に選ばれるだけの“理由”がやっぱりあるんです。

その診察・手技を行なう『目的』を
項目の最初に
簡潔に明示。

『手順』は
OSCEの評価項目
に準拠。短い文の
箇条書きで説明
しているから、
頭に入りやすい。

動作を行う際の
『確認事項』や
『注意点』が
ひと目でわかる！



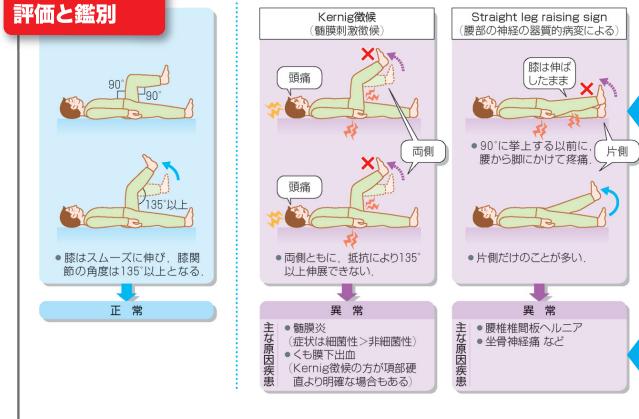
『診みえ』は実際にOSCEを受験した学生と編集者が徹底的に研究し、共用試験実施機構の評価項目の内容が、パッと頭に入るようと考えられたフォーマットで作られています。

例えば「手順」では、箇条書きにされた短い文で、「何をどうするか」がまず簡潔に明示されています。この文章に画像が連動して配置されているため、まるでコマ送りで動画を見るように動作のイメージを捉えることができるというわけです。しかし、本書はOSCEを受験する学生だけが使っているわけではありません。

『手順』と画像が連動して配置されているから、どのように動作をするかも一目瞭然。

さらに臨床実習、国家試験、臨床研修…
OSCE終了後もずっと使える工夫が満載。

Kernig徵候の評価と鑑別



本書の読者には、研修医の方はもちろん卒後10年の医師の方までいます。それはなぜかというと…例えば上の図を見て下さい。正常所見と異常所見の違いがイラストではっきりわかりますね。しかもそれだけではなく、異常所見が得られた場合にそこから何がわかるかまでを、一つの図の中で一連の流れで見せているのです。

このように、ただOSCEの評価項目に沿った診察のやり方が載っているだけでなく、所見の考え方や、そこから読み取れる疾患や病態などの応用的な内容までがしっかり詰めこまれている本だからこそ、OSCE後の病院実習や国家試験、さらに臨床研修まで長く使われているというわけです。

診察と手技がみえるシリーズ 絶賛発売中！



診察と手技がみえる vol.1
定価（本体 6,000 円 + 税）



診察と手技がみえる vol.2
定価（本体 6,000 円 + 税）

『正常』と『異常』
所見の違いが、
クリアカットに
わかるように配慮。

さらに『得られた
異常所見から
何がわかるか』
までがしっかり
書かれている。